

《記入例》

R5 年分 医療費控除の明細書

※この控除を受ける方は、セルフメディケーション税制は受けられません。

住所 与那城〇〇番地の××

氏名 西原 太郎

1 医療費通知に関する事項

医療費通知(※)を添付する場合、右記の(1)~(3)を記入します。
※医療保険者が発行する医療費の額等を通知する書類で、次の6項目が記載されたものをいいます。

医療費通知分を記入

(1) 医療費通知された医療費の総額	円	(2) 補てんされる金額	円
485,500	円	145,650	円

領収書分を記入

2 医療費(上記1以外)の明細

「医療を受けた方の氏名」、「病院・薬局などの支払先の名称」ごとにまとめて記入することができます。上記1に記入したものについては、記入しないでください。

(1) 医療を受けた方の氏名	(2) 病院・薬局などの支払先の名称	(3) 医療費の区分	(4) 支払った医療費の額	(5) (4)のうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額
西原 花子	城間内科 他	<input checked="" type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input type="checkbox"/> その他の医療費	8,450 円	0 円
西原 小太郎	琉大病院 他	<input checked="" type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input type="checkbox"/> その他の医療費	2,240 円	0 円
西原 一郎	備瀬歯科 他	<input checked="" type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input type="checkbox"/> その他の医療費	65,320 円	0 円

人ごとに分けて領収書を計算し金額を記入してください。

※病院・薬局などの支払先は1か所を記入します。

補てんされる金額とは…

- ・ 生命保険会社から振込まれた金額
 - ・ 高額療養費該当分
 - ・ 高額介護サービス
- (自己負担額が超えて払戻された金額) など…

記入不要

2 の 合計	円	76,010	円	0
医療費の合計	A (㊷+㊸) 円	221,660	B (㊷+㊹) 円	16,800

3 控除額の計算

支払った医療費 (合計)	円	A
保険金などで補てんされる金額	円	B
差引金額 (A - B)	(赤字のときは0円)	C
所得金額の合計額	円	D
D × 0.05	(赤字のときは0円)	E
E と10万円のいずれか少ない方の金額	円	F
医療費控除額 (F - E)	(上限200万円、赤字のときは0円)	G

申告書第二表の「所得から差し引かれる金額」に関する事項の医療費控除欄に転記します。

申告書第一表の「所得金額」の合計欄の金額を転記します。
(注) 次の場合には、それぞれの金額を加算します。
・ 退職所得及び山林所得がある場合・・・その所得金額
・ ほかに申告分離課税の所得がある場合・・・その所得金額(控除後の金額)
なお、損失申告の場合には、申告書第四表(損失申告用)の「4 繰越損失を差し引く計算」欄の㊹の金額を転記します。

申告書第一表の「所得から差し引かれる金額」の医療費控除欄に転記します。

この明細書は、申告書と一緒に提出してください。